













富良野塾  
FURANO NATURAL STUDIO

あなたは文明に

麻痺していませんか

石油と水は

どちらが大事ですか

車と足は

どちらが大事ですか

知識と智慧は

どちらが大事ですか

批評と創造は

どちらが大事ですか

理屈と行動は

どちらが大事ですか

あなたは感動を忘れていませんか

あなたは結局何のためにいるから

わが世の春を謳歌していませんか





















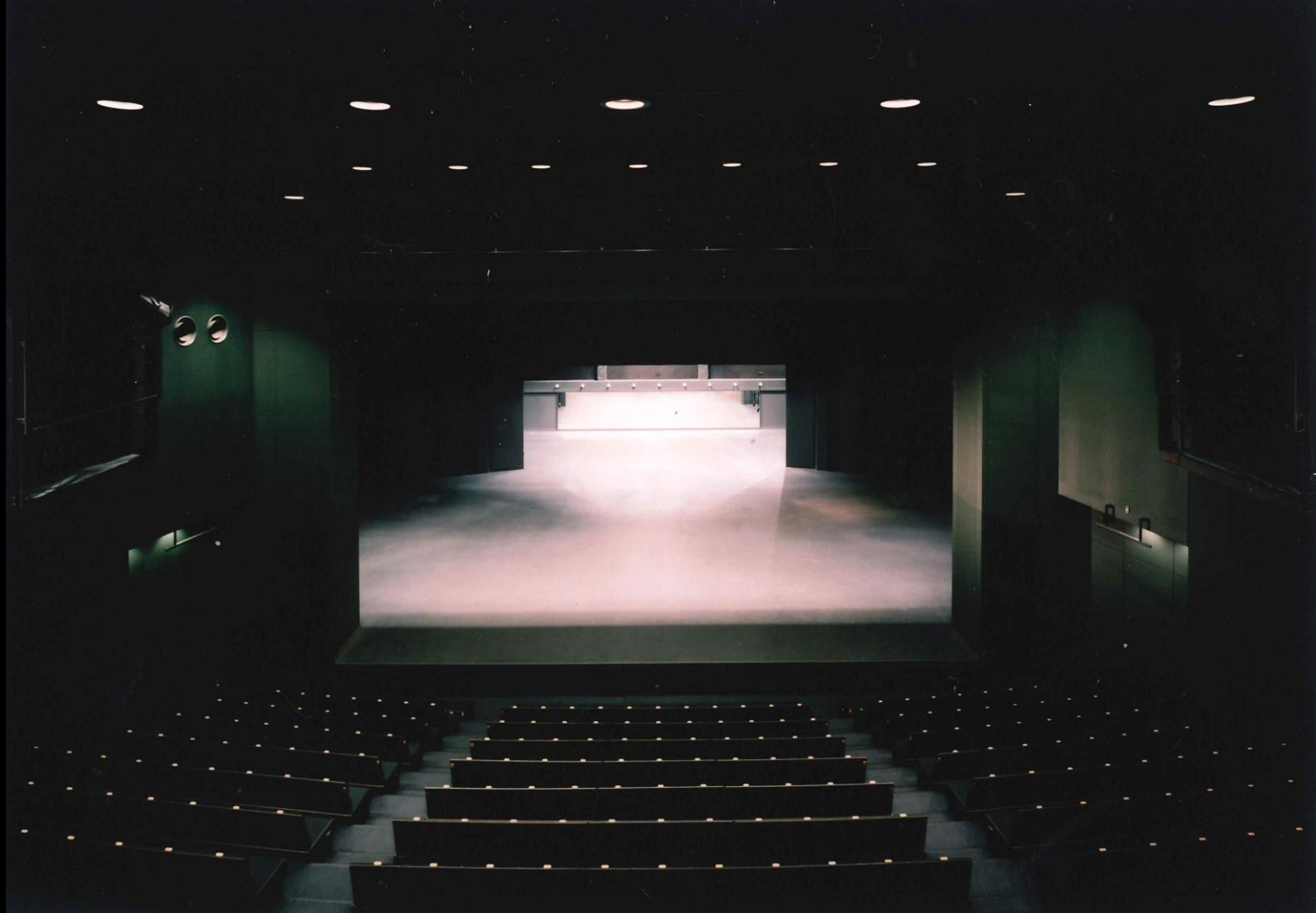
























8月24日(土)  
PM 9:20  
会場 桜井亜紀 (27)  
202  
会場 桜井守 (28)



何う場や人数に応じたプログラム形態（ワークショップ・講演など）をご用意します。

### 【プログラムの内容例】

アイスブレイク・ゲーム  
コミュニケーション・ゲーム  
発信 & 受信の実践  
自己表現 & 他者理解の実践  
「話す」基本 / 「聞く」基本  
インプロ（即興）的身体表現  
自己紹介の仕方  
...etc.

### ねらいどころ

発表  
受信と発信  
ステータス？  
熱と身体の開放  
日常と向き合う  
理解しあうことのむずかしさ  
想像から創造へ  
振る舞い  
自信  
協働・共感  
スポンサード？

体験した方々それぞれが 気づきを得て、きっかけに変えて頂くことを目指しています

### 主な実績など

北海道教育大学 講座「演劇」 / 富良野市内 小中高 教員 研修会 / 東京大学 体験学習  
日本麻酔科学会 学術集会 講演 / 北海道医療大学 言語聴覚療法学科 講座  
富良野市役所 新任研修 / 札幌市 新任薬剤師 研修会 / 介護福祉施設 訪問プログラム  
特別支援の児童と交えた体験学習 / 企業・団体向けセミナー（職種・キャリア不問）  
各種実行委員会・PTA向けワークショップ / 市民向け コミュニケーション講座（職業・年齢不問）  
「高校生レストラン」岸川政之氏とのコラボイベント / 学校演劇・市民劇 演技指導 など

### 講師紹介

1966年 福厚県生まれ。  
富良野長11期生。  
富良野GROUPを中心に舞台のほか、  
TVドラマなど多方面で役者として活動。

ワークショップでの指導経験を活かし、2010年度より  
北海道教育大学の非常勤講師などとして、  
演劇的手法を発見させるコミュニケーションプログラムを  
世代や立場を問わず実践中。

#### 【主な出演作品】

TVドラマ「シブシブ」風のカーテン「僕らの時間」など  
舞台公演：富良野GROUP「明日、是れで」「静謐」など



富良野GROUP / 富良野塾OB  
講師：久保隆徳 他

# 富良野 GROUP

## コミュニケーション プログラム



### 受信・発信・想像

によって  
コミュニケーション能力向上の  
気づき や きっかけ を  
得てみませんか？



「コミュニケーションが存在するところ」=「人が集う全ての場」が対象です

#### > 企業・法人向け

… 内定者 / 新入社員 / 管理職 / 専門職など  
→ 社内の人間関係の円滑化～プレゼンテーション能力向上～チームでのリエイシ ングプロジェクト推進など

#### > 教育機関向け

… 教師 / 教師を目指す学生 / NPO等、各種団体の指導員・インストラクターなど

#### > 学校向け

… 大学 / 短大 / 専門学校 / 高校 / 中学校 / 小学校の学生・生徒・児童など

#### > 一般市民向け

… PTA / 母親 / シニア / 市民サークル / 青年団 / 町内会など

お問い合わせ先

## NPO法人 富らの演劇工房



〒076-0016 北海道富良野市中御料  
[Tel] 0167-22-3800 / [Fax] 0167-22-3975  
[E-mail] engeki@furano.ne.jp

[担当] 太田

[公式サイト] [www.kuramoto.jp/ob\\_unit/communication.php](http://www.kuramoto.jp/ob_unit/communication.php)  
[活動報告(Facebookページ)] [www.facebook.com/furanogroup.com](https://www.facebook.com/furanogroup.com)

## 「企業研修向けプログラムの例」(90分とした場合)

\*受講者数や実施時間など、ご希望に応じて調整が可能です。

## アイスブレイク (15分)

シンプルなゲーム形式のアクティビティで  
場の温度を上げながらお互いの距離を縮め、  
受講者の心と身体を開放する。



## コミュニケーション・ゲーム (30分)

しっかりと伝え合うことの意識付け。  
相手に伝わるアイコンタクトや発声(発信)、  
それを受け止めたという意味表示(受信)  
などを実践する。



## イメージネーション・ゲーム (15分)

自己表現と他者理解に必要な想像力を養う。  
他者の発想を受け止め、  
即興的に自分の発想を加えるなど、  
クリエイティブな手法を実践する。



## 「話す」ことの基本 (15分)

会話する場や立ち位置の設定、  
姿勢、目線、手の使い方、声の大きさ、トーン、速度…  
そして、相手との上下関係など、  
対面して「話す」と・人前で「話す」ことの基本を学ぶ。



## 「聞く」ことの基本 (15分)

会話の主導権を握っているのは「聞く」側の反応…  
役者ならではのデモを交えつつ、相槌や頷きなどを豊かに  
することで、コミュニケーションが円滑になっていくことを  
体感する。



## 「受講者の方々のご感想」

受講者の方々のご感想

「講座の内容は 社会人として最低限必要 など。」

「コミュニケーションの取り方を 普段思ってもみない方法 で学べた。」

「座学ではなく、実際に身体を動かすことで 理解や気付きが深まった。」

「人をこわいなと思って自分をかくしたり、とじこもったりしてしまうこともあります。  
まだ話したことのない同級生がいることに寂しさも感じていたので、自分から話してみようと思いました。」

私たちが一番ご提供したいのは、スキルやテクニックではありません。  
そうしたものだけに基づく接遇・挨拶・スピーチなどの改善は一時しきでしか無いと  
考えています。コミュニケーションの取り方も、人それぞれのかたちがあるはずで、  
体験者自身の気付きによって、日常生活からより良いものになっていくことを目指し、  
そのきっかけとなる場をご提供しています。  
オリエンテーション・社員・職員研修(新人・キャリア問わず)・講演など、ご要望や  
対象となる方々・場所・人数・時間などに合わせ、都度、最適なプログラムをご用意  
しています。まずは一度お問い合わせください!

## 富良野GROUPとは?

富良野GROUPは、作家・倉本聰が興した私塾  
「富良野塾」の卒業生からなる演劇集団です。メンバー  
は卒業後も富良野の地に住み、演劇・ワークショップ  
・朗読などを中心に活動しています。

富良野塾では役者と脚本家を目指す達が毎年十数  
名ほど集い、人里離れた谷の塾地で2年間共同生活を  
しながら学びました。

我々、富良野GROUPの根幹にあるのはそこで得た  
「演劇的知」以上に、「人間としてどう生きるべきか」とい  
う気付きです。それは皆、塾での「地に足をつけた生活」  
によって得ました。演劇に関わる講義の受講料は無料な  
がら、生活に必要なもの…建物・食料・生活費などは全  
て塾生自身の手によって賄わなければならないのでした  
です。廃材から住居を建て、出面として農業に従事し、  
交代制の食事当番が全員の食事を用意しました。



個性や年齢・経歴が異なる他者との共同生活において、  
塾生は他者と比べて違いを見つけることによって自分を  
知り、自分の世界を広げていく機会を得ました。

また、自分の想いを伝えるにはどうすれば良いのか?  
他者の想いを受け止めるにはどうすれば良いのか?  
という課題から避けることはできないため、それぞれが  
自分なりのやり方で解決していったのでした。  
そうした気付きはテレビや文庫を通して他者から得たも  
のではなく、全て自らの五感を通して体験によって得た  
ものです。

誰かがやって上手くいったやり方ではなく、自分がやっ  
て上手くいったやり方であるから、信じてやりきれます。  
学びの在り方は本来こうあるべきだと考え、富良野  
GROUPのコミュニケーション・プログラムでは、受講者  
自身の体感によるそれぞれの気付きを大切にしてい  
ます。  
そのために必要なのは、まず「受信」し、そこからよりよ  
い私たちの「発信」を行い、「想像」の共有から協働で  
「創造」することであると考えます。





